

【2020年上半期の火災統計（速報値）について】

2020年上半期の火災統計（速報値）を取りまとめたので公表します。

※ 速報値としての公表であり、精査の結果、数値を修正する場合があります。

※ 小数点を含む数値は、小数点第二位で四捨五入して表記しています。

※ 平均値は、2017年から2019年までの3年間の数値です。

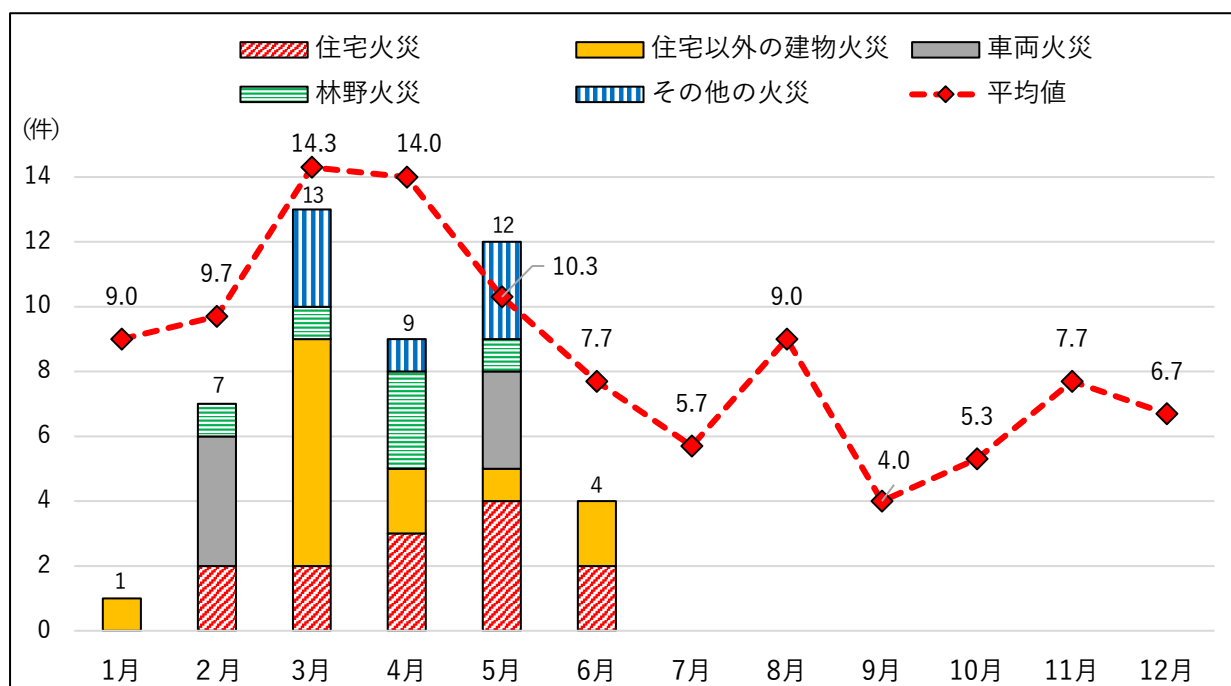
1 月別火災件数の推移

2020年上半期の火災件数は46件で、2019年同期間の71件と比較して25件（35.2%）減少しました。

月別の推移をみると、3月が最も多く13件で、次いで5月が12件、4月が9件と続きます。

1月の1件、6月の4件は、それぞれの月の件数としては、現在の統計システムを導入した1995年（平成7年）以降でいずれも最少でした。

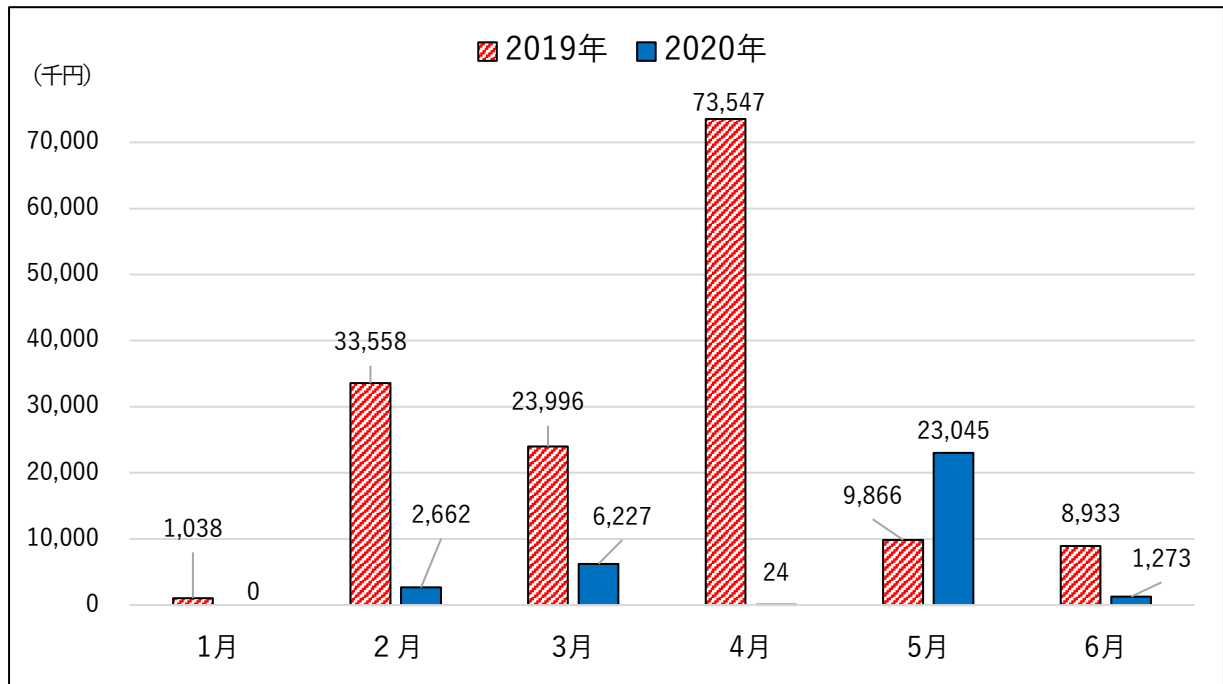
また、5月以外は平均値を下回る件数となりました。



2 月別損害額の推移

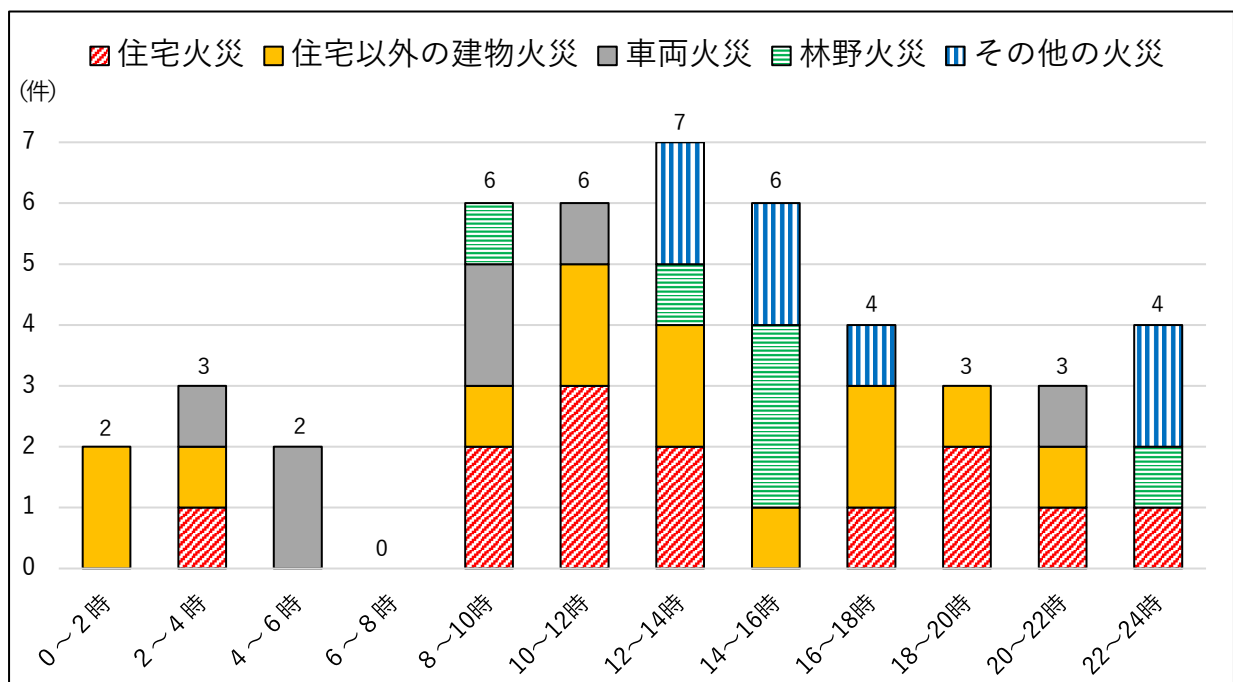
2020年上半期の火災による損害額は合計33,231千円で、2019年同期間の150,938千円と比較して117,707千円(78.0%)減少しました。

月別にみると、5月以外はいずれも2019年を下回る損害額となりました。



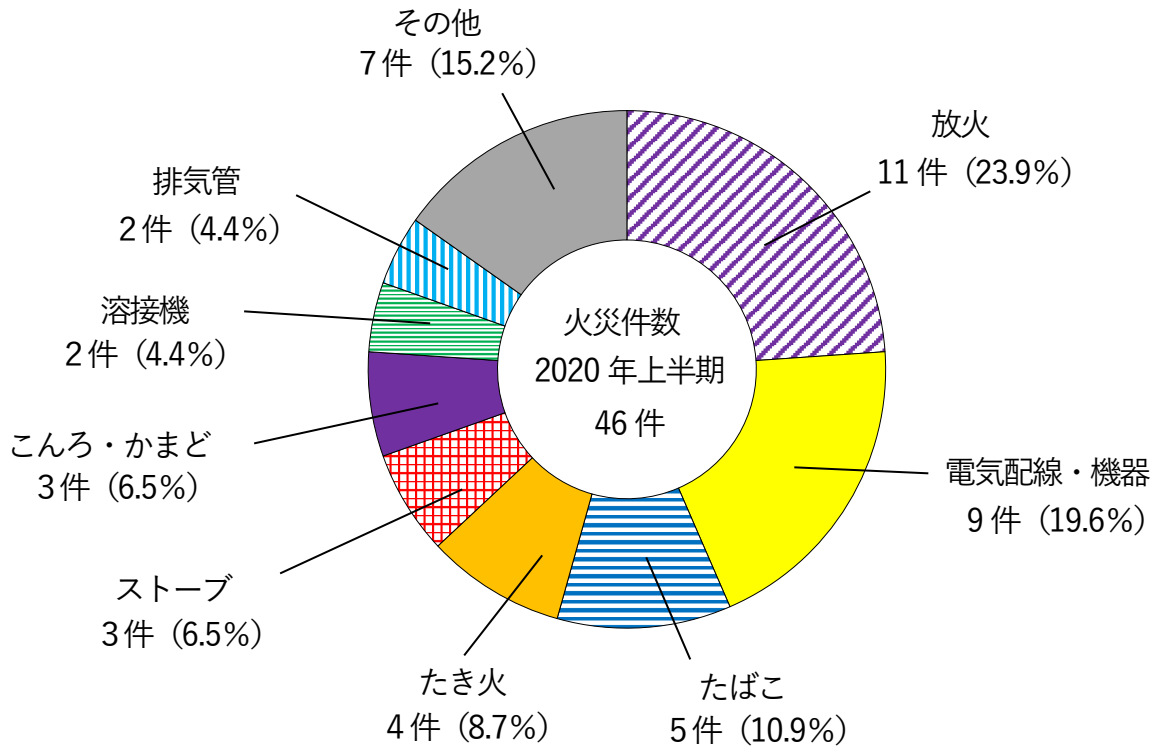
3 発生時間帯別の火災件数

発生時間帯別の火災件数をみると、「12時から14時まで」が7件で最も多く、次いで「8時から10時まで」、「10時から12時まで」、「14時から16時まで」が6件と続きます。全体として日中に多い結果となりました。



4 出火原因

出火原因で最も多いのは「放火」（疑いを含む）の11件（23.9%）、次いで「電気配線・機器」の9件（19.6%）、「たばこ」の5件（10.9%）と続きます。



5 火災に至る行動等の分析

火災に至る行動等で最も多いのが「不適切な取扱い」の19件（41.3%）、次いで「施工・点検・整備不良」と「犯罪」の11件（23.9%）と続きます。

